

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 13 日

| | | | | |
|----------|-------------|---|-------|------------|
| 仕事の内容 | きよはら児童館運営事業 | | | |
| 担当部署・課長名 | 青少年 | 課 | 青少年育成 | 係 課長名 新海隆弘 |

| | | | | |
|-------------------------------|--|----------------|-------|---|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | | 施策番号 | 2 - 4 | - |
| 【施策名】 児童福祉の推進 | | 総合計画書 (ページ) | 59 | |

| | | | | |
|-----|---------|-----------|----------|-----------------|
| 予算名 | 款 3 民生費 | 項 2 児童福祉費 | 目 6 児童館費 | 事業 5 きよはら児童館運営費 |
|-----|---------|-----------|----------|-----------------|

| | | | |
|--------------|---|---|---|
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 周辺に住む0~6歳未満の乳幼児とその保護者及び6~18歳未満の児童。 放課後等、保護者の適切な監護を受けられない小学校に通う児童。 | → | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内の0~18歳未満の乳幼児・児童数 |
| | ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①児童が児童館での遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士の交流・情報交換が出来るようにする。 ③放課後から午後5時及び学校休業日の午前8時30分から午後5時までの間、児童の適切な監護を行う。 | → | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児の来館者数(延べ人数) ③児童のランドセル来館利用者数(延べ人数) |
| | ③ そのために何をしましたか。 ①児童の居場所、遊び場の提供。児童向け行事の開催。 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流及び情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1・2歳児親子サークルの実施。 ③ランドセル来館の実施 | → | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①児童向け行事の実施回数 ②乳幼児親子向け行事の実施回数 1・2歳児親子サークルの実施回数 ③児童のランドセル来館利用者数 |

| | | 単位 | 平成28年度実績 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度目標 | 平成32年度目標 |
|------------|-----------|-------|-------------------------|---------------------------|------------------------------|------------------------|----------|
| 2 指標の推移 | 対象指標 | ①の数値 | 人 | 13,976 | 13,737 | 13,533 | |
| | 成果指標 | ②の数値 | 人 | ①10,389 ② 923 ③ 186 | ① 10,489 ② 1,012 ③ 302 | ①8,751 ② 638 ③ 6 | |
| | 目 標 | ②の目標値 | | | | | |
| | 目標値設定の考え方 | | | | | | |
| 活動指標 | ③の数値 | 回・人 | ① 35 ③186 ② 17 44 | ① 35 ③302 ② 17 43 | ① 35 ③ 6 ② 17 44 | | |

| | | | | | | | |
|------------|---------|--------------|------------|------------|------------|------------|---|
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 11,187,648 | 12,127,503 | 11,466,714 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 11,173,538 | 12,110,223 | 10,236,114 | |
| | | 特定財源 | 円 | 14,110 | 17,280 | 1,230,600 | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 14,110 | 17,280 | 15,600 | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | | | | |
| | | 職員人件費(再任用以外) | 円 | 8,233,000 | 8,253,000 | 8,244,000 | |
| 職員人件費(再任用) | 円 | | | | | | |
| 事業費+人件費 | | 円 | 19,420,648 | 20,380,503 | 19,710,714 | | |

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

| | |
|-----------|--|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 (昭和51年度)、児童へ健全な遊びを与え、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、東大和市立児童館を設置した。 |
| | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 通常の児童館運営のほか、学童待機児童対策として「ランドセル来館」を実施している。 また、子育て支援の必要性が高まり、乳幼児とその保護者を対象とした「子育て支援事業」を実施している。 |

| | | | | |
|-----------|-------------|---|-------|------------|
| 仕 事 の 内 容 | きよはら児童館運営事業 | | | |
| 担当部署・課長名 | 青少年 | 課 | 青少年育成 | 係 課長名 新海隆弘 |

| | | | | |
|---------------------------------|---|-----------|--|-------------------|
| 5 市民等 の 意見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | | |
| | 館外での児童のマナーが悪い（大声等騒音、自転車の二人乗り等）。児童館周辺へのゴミの不法投棄等 | | | |
| 6 市民協働 | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） | | | |
| | 取り組んだ | 取組手法 | ③ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） | |
| | (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 事業協力について、現在は大きい行事（児童館まつり）のみで協力を依頼しているが、毎月の行事でも依頼ができるようにした | | | |
| 7 課 題 | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 親子サークルについて、内容の検討・決定・活動はサークル員主体としているが、児童館職員に依存する傾向にある。サークル参加者が減少している。 | | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 職員はサポートであることを周知徹底し、サークル員の自主性を尊重するようフォローしていく。 掲示物による宣伝に加え、日頃利用している対象の乳幼児、行事に参加している対象の乳幼児に高等で宣伝していく。 | | | |
| | (3)(2)を踏まえた今後の課題 子育てひろばとして乳幼児親子に対応できる職員のスキルアップの必要がある。 利用者数が減少している。多方面に宣伝の必要がある。 | | | |
| | (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 資格や知識のある職員と他職員が共に活動する時間を増やし、知識の共有及びレベルアップを目指す。 利用者数を増やすため、PRの方法範囲等を見直す。 | | | |
| 8 今 後 の 方 向 性 | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 職員一人一人が、レベルアップの必要性を理解し共有していかなければならない。 青少年課に限らず、多方面にPR方法等の情報を収集し、より利用者増を図れるPRを目指す。 | | | |
| | (3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 | | | |
| | 成果 | 成果を向上させる。 | | 経費 仕事の経費は維持する。 |